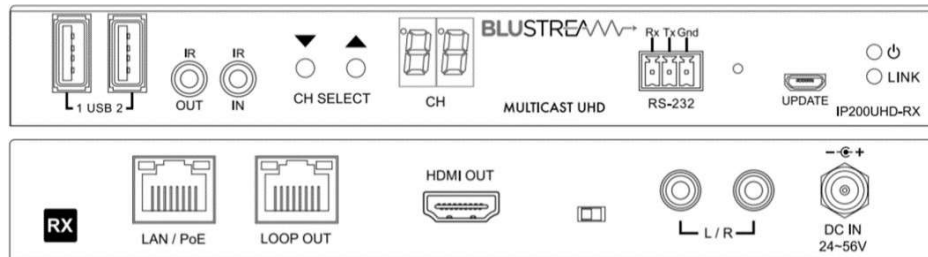


マルチキャスト UHD レシーバ IP200UHD-RX

取扱説明書



改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver.1.0	2021/09/16	初版
Ver.1.1	2021/11/30	P12 ステータスランプ表示の説明文 誤記訂正
Ver.1.2	2023/06/30	連絡先情報の更新
Ver.1.3	2023/12/8	内容変更
Ver.1.4	2026/01/06	PoE 802.11af→PoE 802.3afに修正、ACアダプター取扱無し

安全上のご注意

この度は、IP200UHD-RX をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みにになり、内容をご確認のうえでご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びつくもの。

本取扱説明書内に使われている記号（例）の意味は下記の通りです。

	操作に関するヒントまたは追加情報です。
---	---------------------

**警告**

- 本使用上の注意・保証書で記載されている以外の使い方をしないでください。本使用上の注意・保証書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶつけたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- LAN ケーブルやオーディオケーブルなどケーブル類を抜き挿しする場合は、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。

**警告**

- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合、ほこりをきれいに拭き取ってください。感電や火災の恐れがあります。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などかからないようにご注意ください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止してください。
- 使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止してACアダプター、およびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

**注意**

- 電源を入れたまま、LANケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
- LANケーブルをご利用の際はケーブルの裂け目にご注意ください。ノイズの原因となり、通信を大きく阻害します。
- LANケーブルを束巻き状態で使用すると伝送に影響が出ることがございます。伸ばした状態でご利用下さい。
- 本機に接続する RCA ケーブルには抵抗入りケーブルを使用しないでください。
- 接続するHDMIケーブルは長さ5m以下のものをご利用ください。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。
- ラックなどに設置するとき、放熱を妨げないよう、本製品と他の機器の間に隙間を空けてください。

**注意**

- 本製品両側の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。でお手入れの際、乾いた布をご利用ください。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に關してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	6
はじめに	6
Blustream マルチキャストシステム	6
製品のラインナップ	6
Blustream マルチキャスト用ネットワークスイッチ要件	6
推奨ネットワークスイッチ	6
PoE 電源供給計算	7
アップリンク接続	7
接続図	8
本体の取付	9
専用マウントブラケット取付	9
EIA ラックマウントブラケット(別売り)の取付	9
各部名称	10
接続ケーブル	11
LAN ケーブル	11
HDMI ケーブル接続	11
オーディオケーブル接続	11
IR 送/受信ケーブル接続	12
USB 接続	12
シリアル(RS-232)通信接続	12
本体操作	13
電源を入れる/切る	13
受信しているトランスミッタ ID 番号の表示	14
入力ソースの切り替え	14
IP アドレスの確認	14
リモコン(別売り)で入力ソースの切り替え操作	15
よくある質問 FAQ	16
主な仕様	17
外形寸法	18
サポート専用問い合わせ先	18

製品概要

Blustream UHD マルチキャストレシーバです。

はじめに

Blustream マルチキャストシステム

Blustream UHD マルチキャストは 1Gb イーサネットネットワークを活用し、4K HDMI 信号を低遅延で伝送するマルチキャストシリーズの製品です。独自ロスレス圧縮技術を採用し、HDMI、IR、RS-232、USB/KVM、Dante オーディオ信号を最大 100m、LAN ケーブルを使用して伝送します。ネットワークスイッチを介したマトリックス伝送やビデオウォール表示構成、1 対 1 伝送、および 1 対多(マルチキャスト)伝送が可能です。

製品のラインナップ

- Dante オーディオ非対応モデル: IP200UHD-TX(送信機)、IP200UHD-RX(受信機)
- Dante オーディオ対応モデル: IP250UHD-TX(送信機)、IP250UHD-RX(受信機)
- アドバースドコントロールモジュール: ACM200(IP200UHD、IP250 UHD 混在可能)

Blustream マルチキャスト用ネットワークスイッチ要件

ネットワークスイッチの採用検討をする際は、以下のネットワーク機能をサポートしていることを確認してください。

- マルチキャスト
- インスタントリーブ/ファストリーブ/イミディエイトリーブ
- IGMP スヌーピング
- ジャンボフレーム/ジャンボパケット/ MTU(最大伝送ユニット)
- 省電力モード(例:Energy Efficient Ethernet)を確実にオフ可能(PoE 電源供給使用時)^{※1}

推奨ネットワークスイッチ

- NETGEAR 製 M4250 シリーズ(PoE 対応モデル)
- Cisco 製 CBS350 シリーズ(PoE 対応モデル)

※1 PoE(Power over Ethernet) ネットワークケーブルを通じて電力供給を行う技術の一種です。PoE を使用すると、同じケーブルを通じてデバイスに電力を供給することができます。

PoE 電源供給計算

Blustream UHD マルチキャスト各デバイスの消費電力は下記の通りです。ポートごとに十分な電力を供給できるネットワークスイッチをご利用ください。

IP200UHD-TX(送信機)、IP200UHD-RX(受信機)	約 10W
IP250UHD-TX(送信機)、IP250UHD-RX(受信機) ^{※2}	約 13W
ACM200(アドバイスコントロールモジュール)	約 6W

アップリンク接続

Blustream UHD マルチキャストデバイス通信時使用する帯域幅は下記の通りです。ネットワークスイッチ間を接続するアップリンクポートの帯域幅を考慮し、マルチキャストシステムの設計を行ってください。^{※3}

機種	4K 映像信号伝送時	1080p 映像信号伝送時
IP200UHD-TX(送信機)	最大 900Mbps	最大 500Mbps
IP200UHD-RX(受信機)	常用400Mbps	常用300Mbps
IP250UHD-TX(送信機)、 IP250UHD-RX(受信機)		

ご注意

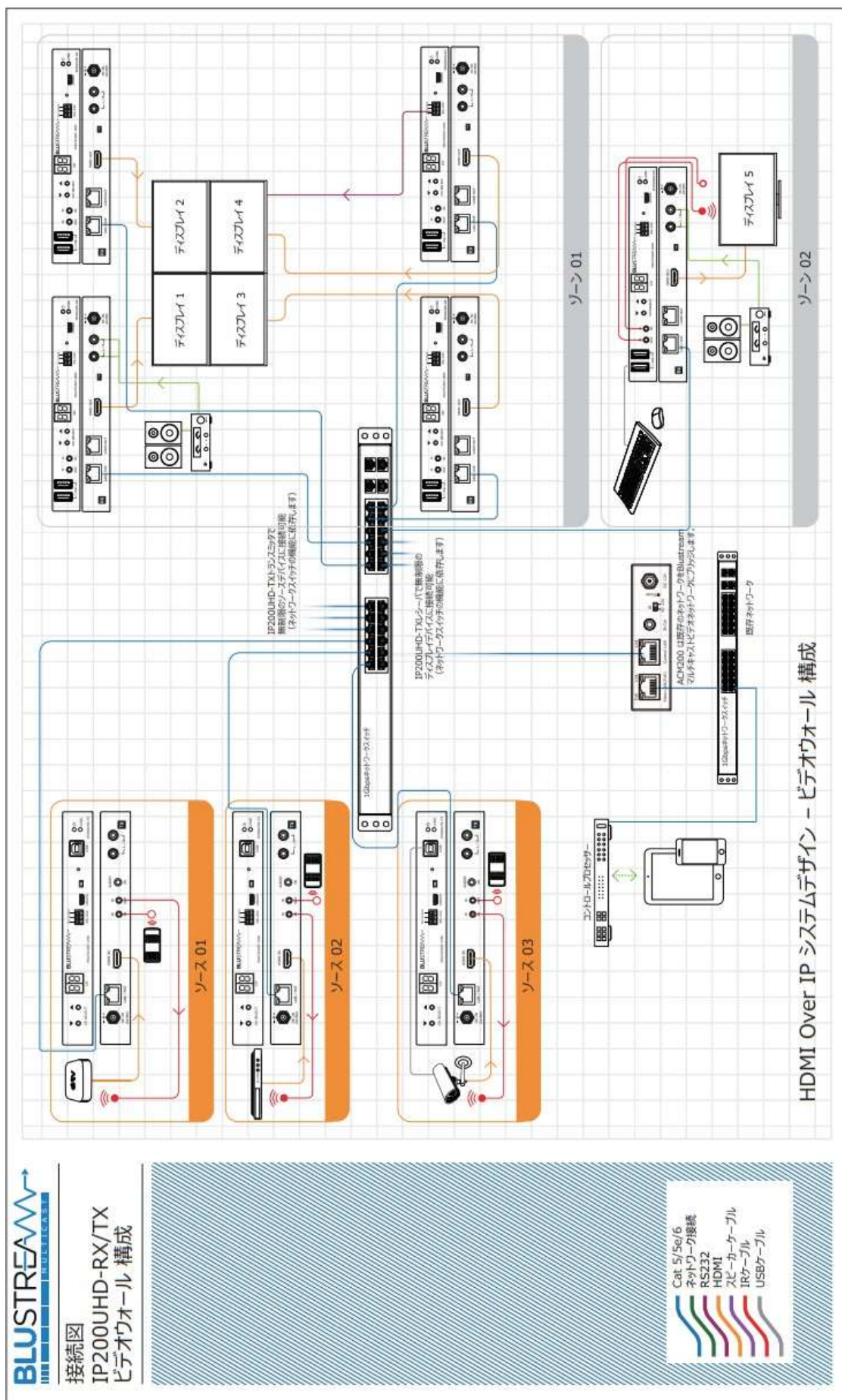
Blustream マルチキャストシステム運用時は、全てのデバイスを同一 VLAN 内に運用してください。異なるVLAN 間の通信には対応していません。

※2 IP250UHD-RX に USB マウス、キーボードのみ接続してください。消費電力が高い USB デバイスを接続すると、IP250UHD-RX が再起動する場合があります。

※3 48kHz 2ch Dante オーディオは6Mbps(ユニキャスト)帯域幅を使用します。

接続図

接続図 IP200UHD-RX/TX ビデオウォール 構成

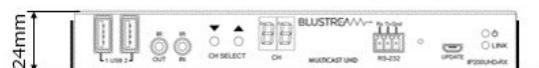
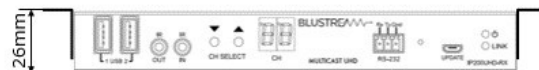
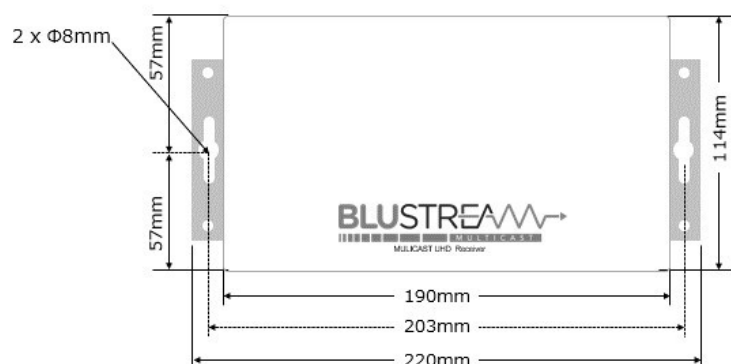


本体の取付

専用マウントブラケット取付

付属のマウントブラケットをネジ(付属)で下図のように、本体の側面に取り付けます。

本機底面

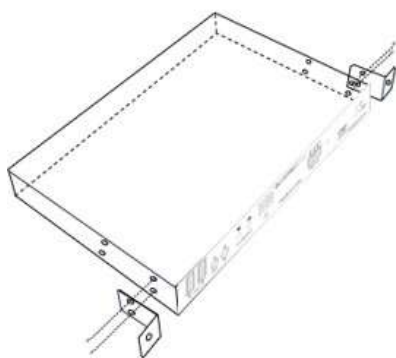


EIA ラックマウントブラケット(別売り)の取付

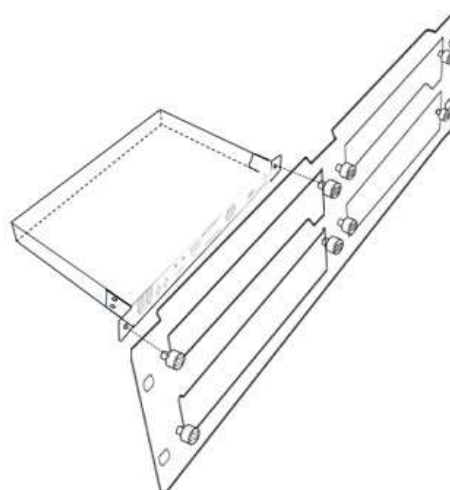
本機は別売りラックマウント取付キット(型番:RSU-2RU)を使用して EIA ラックマウントに取付することができます。

取付方法

本機に専用金具を取付た後、ラックマウントブラケットに本体を取付けます。RSU-2RU に 4 台の IP200UHD-TX/RX または IP250UHD-TX/RX を取り付け可能です。



本体に専用金具を取付る



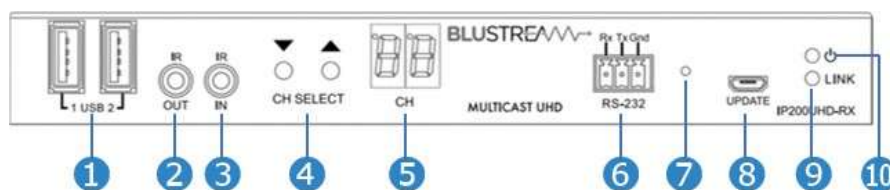
ラックマウントブラケットに本体を取付る

ご注意

- 通気性の良い場所に設置してください。
- 本機の上下左右パネルにある排熱口をふさがないでください。
- 密閉型ラックに取り付けることを避けてください。
- 移動式ラックケースに取り付ける際、ケースの前後両面のふたを外し、本機の前後面をふさがないようにしてください。

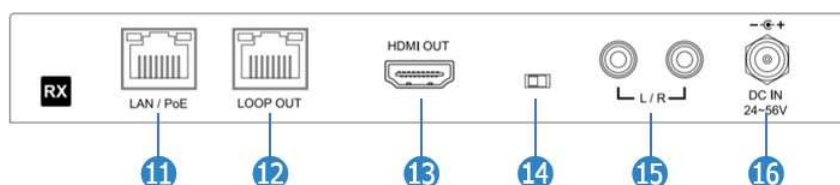
各部名称

前面



番号	表示	説明
①	USB 1/2	USB タイプ A 端子です。USB デバイスに接続します。※ ⁴
②	IR OUT	IR 信号送信 3.5mm モノラルジャックです。付属の 5V IR 送信ケーブル(IRE)を接続します。
③	IR IN	IR 信号受信 3.5mm ステレオジャックです。付属の 5V IR 受信ケーブル(IRR)を接続します。
④	CH CELECT	選択ボタンです。入力ソースの切り替えを含む操作を行います。詳細は本書 P.13 本体操作 を参照してください。
⑤	ディスプレイ	ステータス情報を表示します。
⑥	RS-232	シリアル(RS-232)通信用 3 ピンターミナルブロック端子です。付属の 3 ピンターミナルブロックを加工して、ご利用ください。
⑦	RESET	リセットホールスイッチです。6 秒以上押し続けると、本体がリセットされます。
⑧	UPGRADE	サービス用micro USB タイプ端子です。
⑨		通信ステータス情報インジケータです。青色点滅:通信中※ ⁵
⑩		電源インジケータです。青色点灯:電源オン※ ⁵

背面

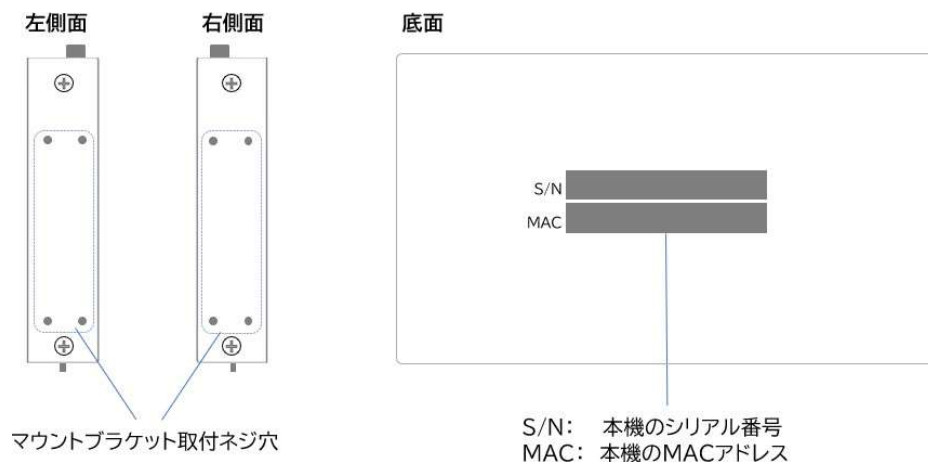


番号	端子/ポート	説明
⑪	LAN /PoE	PoE 対応RJ-45 ポート(1000Mbps)です。接続先は本書 P.8 接続図 を参照してください。
⑫	LOOP OUT	ループアウト用 RJ-45 ポート(1000Mbps)です。他の IP200UHD-RX にデイジーチェーン接続する場合に使用します。※ ⁶
⑬	HDMI OUT	HDMI タイプ A 出力端子です。HDMI ケーブル経由でディスプレイに接続します。
⑭		サービス用 MCU ファームウェアアップデートモード切替スイッチです。左側に切り替えたままで使用してください。
⑮	AUDIO OUT	L/R アナログオーディオ出力端子です。オーディオ再生機器に接続します。
⑯	DC IN 24~56V	電源入力端子です。(ACアダプターは付属・販売しておりません。)を接続します。

※4 接続する USB デバイスの消費電力は 5V 300mA 以下であることをご確認ください。

※5 通信開始してから約 90 秒後に消灯する初期設定となっています。ACM200 ウェブ GUI で常時点灯に設定可能です。

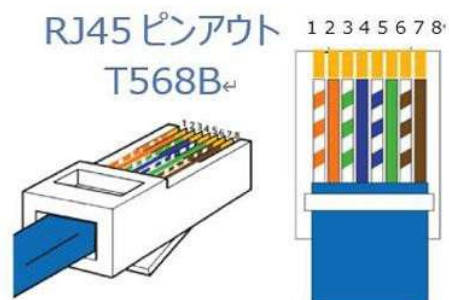
※6 LOOP OUT 端子経由 AVoIP 信号を受信するレシーバは LOOP OUT 供給元のレシーバと同じソースを表示してください。異なるソースに切り替えることができませんので、ご注意ください。



接続ケーブル

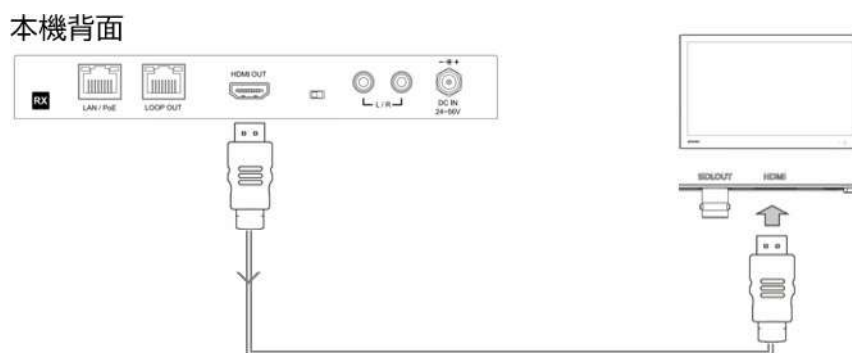
LAN ケーブル

本機は Cat5e/6 に対応しています。接続する LAN ケーブルは、Cat6 を推奨します。また、正しい RJ-45 ピン構成で終端してください。LAN ケーブルは「ストレート」（ピン対ピン）、EMI 電磁干渉の影響を受けにくい T568B 結線規格で配線することを推奨します。LAN ケーブルを敷設する際には、できるだけ高品質な LAN ケーブルを採用することをお勧めします。



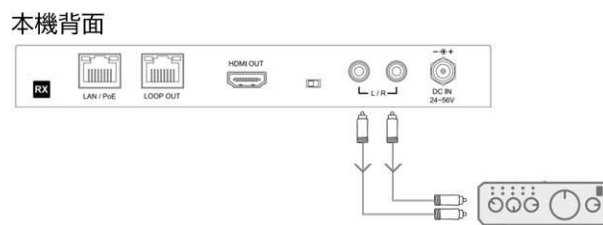
HDMI ケーブル接続

HDMI タイプ A(オス)のケーブルで、本機とディスプレイ機器間で接続してください。



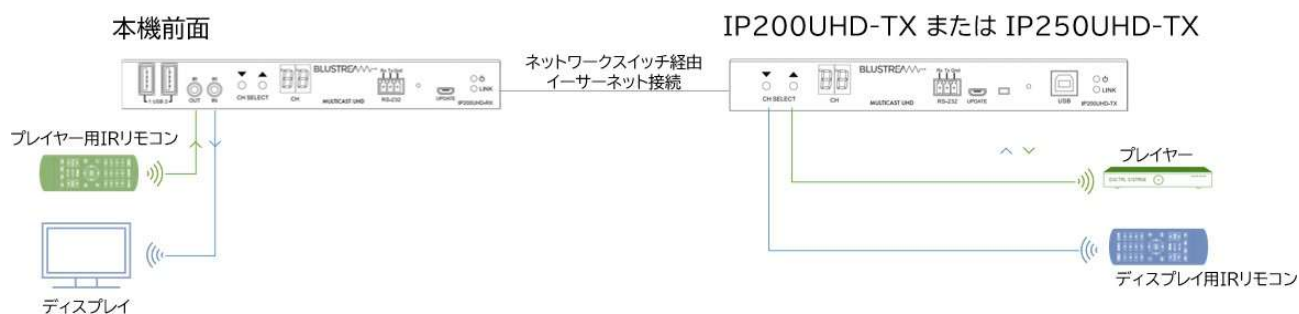
オーディオケーブル接続

オーディオケーブルを使用し、本機とオーディオ機器間で接続してください。



IR 送/受信ケーブル接続

付属の 5V IR 受信ケーブル(IRE)、5V IR 送信ケーブル(IRE)を本機前面の IR IN、IR OUT 端子にそれぞれ接続し、ご利用ください。



ご注意

IR リモコンを本体の IR IN 端子に接続した 5V IR 受信ケーブル(IRR)の受光部へ向けて操作してください。操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識できない場合があります。また、受光部に強い光が当たっている状態だと、リモコン信号を正しく認識しない場合があります。なお、IR リモコンは、押し続けても連続せず、1 回の IR 信号受信として認識します。

USB 接続

本機は USB マウス、キーボードの信号を延長という用途となります。USB タイプ A(オス)コネクタを搭載している USB1.1 対応のデバイスを本機前面の USB ポートに接続してください。



シリアル(RS-232)通信接続

付属の 3 ピンターミナルブロックを使用して、本機とシリアル(RS-232)通信機器間で接続してください。



シリアル(RS-232)通信の初期設定は下記の通りです。

項目	設定値
ボーレート	115200
データビット	8 ビット
パリティ	なし(None)
ストップビット	1 ビット
フローコントロール	なし(None)

ACM200 のウェブ GUI で、ボーレートを含むシリアル(RS-232)通信設定を変更できます。詳しい設定方法は ACM200 の取扱説明書を参照してください。

本体操作

電源を入れる/切る

本機への電源供給方法は PoE 電源入力または AC アダプター(取扱無し)電源入力の 2 つの方法があります。

ご注意

本機への PoE と DC 電源入力は同時に行わないでください。また、本機には IEEE802.3af または 802.3at に非対応の PoE 電源供給機器は絶対に使用しないでください。故障の原因になる場合があります。
本機の電源を入切する時は、接続する機器及び本機の音量を最小に下げてください。

電源を入れる手順

1. 本機に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認したうえ、LAN ケーブルやターミナルブロックの結線を行います。(本機への電源供給はまだ行わないでください)
2. 本機への電源供給を開始します。
3. ソース機器 → 出力機器の順に電源を入れます。

電源を切る手順

1. 出力機器 → ソース機器の順に電源を切ります。
2. 本機への DC 電源供給を終了します。
3. 本機に接続する LAN ケーブルやターミナルブロックを外します。

受信しているトランスミッタ ID 番号の表示

本機の前面パネル操作で、現在受信しているトランスミッタの ID 番号、入力ソース(トランスミッタ)の切り替え、本機の IP アドレスの確認などの操作を行うことができます。

現在受信しているトランスミッタ ID 番号の表示方法

前面ディスプレイが消灯している状態で、CH CELECT ▲ ▼ ボタンのどちらを押すと、ディスプレイに現在受信しているトランスミッタの番号が表示されます。



入力ソースの切り替え

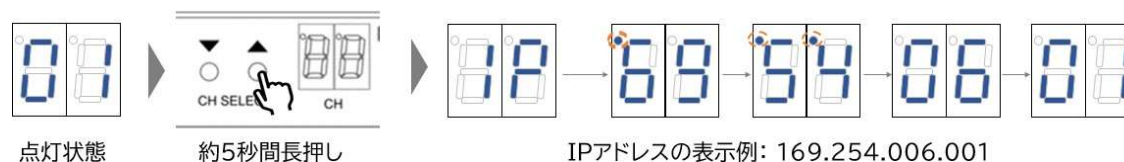
前面ディスプレイが受信中のトランスミッタの ID 番号が表示している状態で、CH CELECT ▲ ▼ ボタンのどちらを押すと、入力ソース(トランスミッタ)を切り替えられます。※⁷

入力ソースの切り替え方法



IP アドレスの確認

前面ディスプレイが受信中のトランスミッタの ID 番号が表示している状態で、CH CELECT ▼ ボタンを約 5 秒間長押しすると、本機の IP アドレスが表示されます。



※⁷ 前面の選択ボタンでは、1～99 番までトランスミッタを切り替えることができます。99 番以降のトランスミッタを切り替えるには、ACM200 のウェブ GUI で切り替えてください。

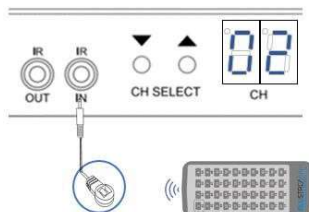
リモコン(別売り)で入力ソースの切り替え操作

別売りのリモコン(REM100)を当送信機の入力ソース(トランスミッタ ID 1～80 まで)切り替えを行うことができます。

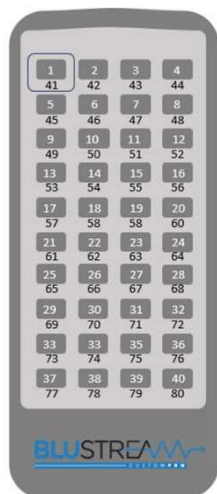
操作方法

本機の前面パネルにある IR IN 端子に付属の 5V IR 受信ケーブル(IRR)を接続します。

別売りのリモコン(REM100)を 5V IR 受信ケーブル(IRR)の受光部に向け、入力ソースにあたる送信機の ID 番号を押し、入力ソース(トランスミッタ)を切り替えます。



リモコン(REM100)の操作方法



入力ソースのトランスミッタ ID 1 ～ 40 までは、リモコンボタン 1 ～ 40 を使用して選択します。

入力ソースのトランスミッタ ID 41 ～ 80 を選択するには、“二次制御モード”に入る必要があります。

リモコンボタン 1 を約 5 秒間押し続けると、“二次制御モード”に入り、リモコンボタン 1 ～ 40 を押すことで、トランスミッタ ID 41 ～ 80 の入力ソースを選択できます。(例: リモコンボタン 10 → トランスミッタ ID 50)

“二次制御モード”から通常モードに戻るには、リモコンボタン 1 を再度 5 秒間押し続けてください。

ご注意

IR リモコンを本体の IR IN 端子に接続した 5V IR 受信ケーブル(IRR)の受光部へ向けて操作してください。操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識できない場合があります。また、受光部に強い光が当たっている状態だと、リモコン信号を正しく認識しない場合があります。なお、IR リモコンは、押下し続けても連続せず、1 回の IR 信号受信として認識します。

よくある質問 FAQ

故障かな？と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

電源がつかない

ネットワークスイッチから十分な PoE 電源供給しているかをスイッチの GUI にて確認してみてください。
AC アダプター(付属・販売しておりません。)をコンセント、および本体にしっかりと奥まで接続してください。

映像が出ない

下記の項目をご確認ください。

- 入力ソース機器から HDMI 信号正常に出ていること
- 受信機と接続しているディスプレイ機器が正常に映像を映していること
- 該当マルチキャストにない送信機の ID に切り替えていないこと
- Blustream マルチキャストシステムに必要なネットワークスイッチの設定項目をすべて設定正常に設定していること(ジャンボフレーム、マルチキャスト、QoS、IGMP スヌーピング、IGMP クエリア、ファストリーブ、PoE 省電力など)
- 伝送する映像ストリーム数に応じて、ネットワークスイッチ間のアップリンク接続の帯域幅を確保していること

受信機が再起動を繰り返す

受信機に接続している USB デバイスの消費電力は 5V 300mA 以下であることをご確認ください。

IR 信号ルーティングが動作しない

IR リモコンを本体の IR IN 端子に接続した 5V IR 受信ケーブル(IRR)の受光部へ向けて操作してください。
操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識できない場合があります。
また、受光部に強い光が当たっている状態だと、リモコン信号を正しく認識しない場合があります。なお、IR リモコンは、押下し続けても連続せず、1 回の IR 信号受信として認識します。

シリアル(RS-232)信号ルーティングが動作しない

下記の項目をご確認ください。

- 本機のシリアル(RS-232)のターミナルブロックのピンアサイン通りに接続していること
- 本機と通信機器するシリアル(RS-232)通信ボーレートなどの設定値が一致していること

主な仕様

製品型番		IP200UHD-RX
映像・音声入力	1GbE	RJ-45 x1、1000Mbps LAN/PoE 端子:AVoIP 信号を受信
		AVoIP 信号※ ⁸ 映像:最大解像度 3840x2160@30Hz 4:4:4、4096x2160@24Hz 4:4:4、4K@60Hz 4:2:0 対応 音声:PCM 2ch、Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master など HDMI オーディオ対応
映像・音声出力	HDMI	HDMI タイプ A 出力端子 x1 HDCP1.4/2.2、HDR※ ⁹ 、CEC パススルー※ ¹⁰ 対応 映像:最大解像度 3840x2160@30Hz 4:4:4、4096x2160@24Hz 4:4:4、4K@60Hz 4:2:0 対応(スケーラ機能搭載) 音声:PCM 2ch、Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master など HDMI オーディオ対応
	1GbE	RJ-45 x1、1000Mbps LOOP Out 端子:送信した AVoIP 信号をループアウト
	アナログ	アナログ音声 RCA(L/R)出力端子 x1 ステレオ、アンバランス
その他データ入出力	IR 入力	3.5mm ステレオミニジャック x1※ ¹¹
	IR 出力	3.5mm モノラルミニジャック x1※ ¹¹
	シリアル(RS-232)	3 ピンターミナルブロック x1 全二重 300/600/1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200bps 対応
	USB/KVM	USB タイプ A 端子 x2※ ¹² HID クラス相当
制御	LAN	LAN /PoE 端子
	IR 入力	3.5mm ステレオミニジャック※ ¹¹
伝送距離	HDMI	1080p@60Hz 最大 10m、4K@30Hz 最大 5m
	RJ-45	CAT5e/6 最大 100m※ ¹³
その他仕様	本体寸法(WxDxH)	190 x 114 x 25mm(突起物含まず)
	本体重量	約 600g
	電源	PoE 802.3af、または 24-56V DC(AC アダプターは付属しておりません。またオプションもご用意しておりません。) ※外部から電源供給を行う際は、汎用PoEインジェクターのご使用を推奨いたします。
	消費電力	最大 10W
	動作温度	0~40℃
	保存温度	-20~60℃
	動作/保存湿度	10% ~90%(結露のなきこと)
同梱品	IP200UHD-RX 本体 x1 / IR 受信ケーブル(IRR) x1 / IR 送信ケーブル(IRE)x1 / 3 ピンターミナルブロック x1 / 専用取付ブラケット(ネジ付き)x1 / ステッカー x1 / 注意事項・保証書 x1	
製品保証	ご購入日より 3 年間	
適合認証	FCC Class B/ CE/ RoHS	

※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio、Dolby Vision、“AAC”ロゴ及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

※⁸ AVoIP 信号は映像・音声信号以外に、IR 双方向、シリアル(RS-232)、USB/KVM 信号が含まれます。

※⁹ HDR10、HDR10+、Dolby Vision 非対応

※¹⁰ ACM200 のウェブ GUI にて、CEC を有効に設定してからご利用ください。(初期設定:CEC 無効)

※¹¹ Blustream 社の IR 赤外線製品は全て 5V にて設計されています。他社の IR 赤外線製品をご利用の場合は、5V IR であることをご確認ください。

※¹² 接続する前に、USB デバイスの消費電力をご確認ください。本機から 5V 300mA(合計値)以上の USB 給電を行うと、本機が再起動を繰り返し、故障の原因になる場合がありますので、ご注意ください。

※¹³ Blustream 社では CAT6 ケーブルを採用することを推奨しています。特に、長距離を敷設する場合や、EMI の高いエリア、また 4K 信号伝送する場合はカテゴリの高いケーブルをご利用ください。伝送距離はご利用環境などによって変動します。

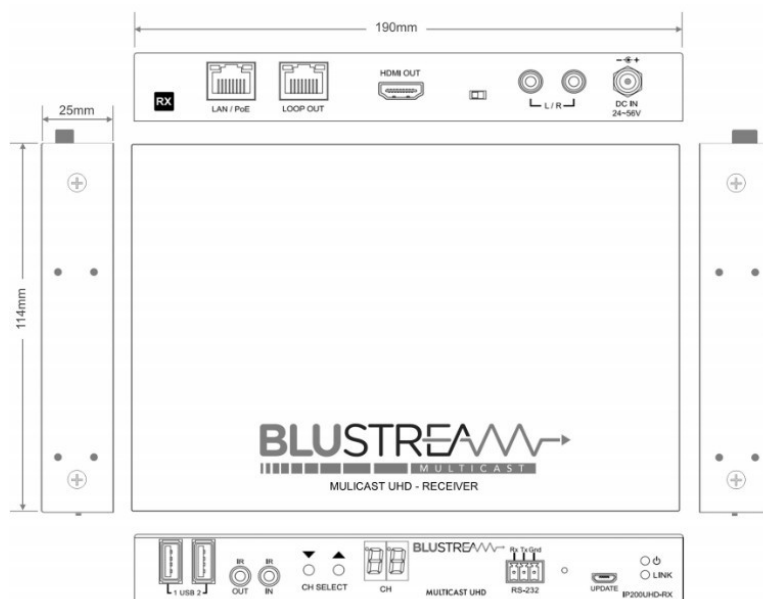
DTS の特許については <http://patents.dts.com> をご覧ください。DTS 社からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、DTS とシンボルの組み合わせ、DTS:X および DTS:X ロゴは米国およびその他の国における DTS 社の登録商標または商標です。

© DTS, Inc. All Rights Reserved.

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

外形寸法



サポート専用問い合わせ先

・サポート専用ダイヤルまたは専用メールにて問い合わせの前に・・・

「FAQ よくある質問」をご参照ください。

それでも治らない場合：

WEB 問い合わせ： www.ad-techno.com/support/info/contact/

メール問い合わせ： support@ad-techno.com

受付時間：月～金 9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始を除く

お問合せの際は以下内容をご確認下さい。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状)

※可能な限り操作可能な状態でご連絡下さい。

ご注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。